

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	教育委員会
課室名	生涯学習課

預算	款	項	目	決算書	
	10	5	1	220	頁

目 名
社会教育総務費

事務事業名称
社会教育総務事業

1. 概要

目的	豊後大野市の社会教育推進のため、社会教育委員会を開催し、社会教育計画を策定する。社会教育委員としての資質向上のため各種の学習会への参加及び先進地研修等の実施。並びに社会教育促進のため社会教育指導員を雇用し、事業を実施する。	対象	社会教育委員及び社会教育指導員、社会教育関係団体	
事業概要	○社会教育総務事業 ・社会教育委員会の開催・・・定例会年2回その他随時 ・社会教育委員の研修・・・九州、大分、豊肥の連絡協議会の開催する研修会 ・社会教育指導員の雇用・・・嘱託職員7名を雇用し、公民館で各種の業務を担当している ・社会教育関係団体補助金			

[illegible]

2. 指標設定

成果指標	指標名		社会教育の推進		目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値		—				総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-1-1)の重点施策としているため				
活動指標	指標	a	社会教育委員会の開催		b	社会教育委員研修		c	社会教育計画の策定		d
	数値	目標	2回		目標	4回		目標	1		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
社会教育の推進		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 社会教育委員会の開催	回	2回 100.0%	2回 100.0%	2回 100.0%
b 社会教育委員研修	回	4回 100.0%	4回 100.0%	4回 100.0%
c 社会教育計画の策定		1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%
d				

4. 課題と対応

課題
地域でのコミュニケーション不足により、つながりが薄れて自治会の運営等にも支障をきたしている
対応（改善点等）
公民館クラブ生等に自分が学んだことを地域への還元を呼びかけ、地域住民自ら生涯学習に取り組む自治公民館活動の促進に取り組む

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

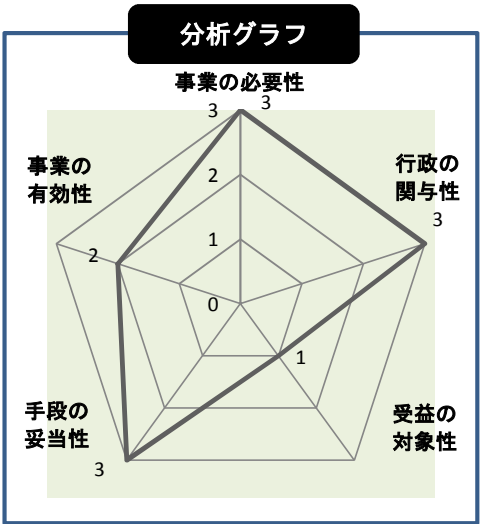
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		17,623	16,383	16,104	17,716
うち経常経費		17,623	16,383	16,104	17,716
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	17,623	16,383	16,104	17,716
うち経常		17,623	16,383	16,104	17,716
事業費に係る人件費		5,349	5,376	5,475	5,160

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
社会教育委員会運営費等一般行政経費のため

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	生涯学習の場の提供と合わせて社会教育の推進は行政の担うべき事業であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	社会教育の推進に関しては民話が望めず、行政が責任を持って推進しなければならない
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	社会教育委員経費及び社会教育指導員報酬が主な経費のため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	生涯学習の場の提供に関しては市民のニーズに対応し、社会教育の推進は行政が主体的に実施すべき事業のため
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	各地域のコミュニケーション不足が生じているため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応するとともに、社会教育推進に向けて工夫しながら、社会教育指導員の効率的な配置についても検討を行うこと